

2020（令和2）年度
公募制推薦入試
卒業生子女・弟妹入試
〔法学部〕
小論文問題

注意

- 1 開始の合図があるまでは、開かないこと。試験時間は六〇分である。
- 2 黒色鉛筆を使用すること。
- 3 解答用紙の所定欄に、氏名・受験番号を記入すること。
- 4 縦書きにすること。
- 5 下書きには、この用紙の余白を使用すること。
- 6 書き損じても、解答用紙は再交付しない。
- 7 この用紙は、試験終了後に回収しない。

解答要領

解答は問題文中の設問の指示に従って、解答欄に適切に書くこと。
なお、句読点・かっこなども字数に加える。また、段落の初めの空きや、段落の終わりの行にできた空きも、書いてあるものとみなし、字数に加える。

以下の「社説」を読んで、設問に答えなさい。

日本文学研究者のドナルド・キーンさんが亡くなった。

繊細さとあふれる情熱をもって、骨太でスケールの大きな仕事に挑み続けた学究だった。

太平洋戦争が始まる直前の1940年、ニューヨークで源氏物語の英訳に出会う。語学将校として沖縄やハワイに従軍し、戦後は京大に留学した。

日米を往復しながら、芭蕉、近松から三島由紀夫、安部公房まで、多くの作品の翻訳に^aぼつ^aとうした。古事記に始まり現代までを見渡す文学史の著作を、20年以上かけて執筆した。

心を砕いたのは、海外にも国内にも根強くある「日本文化は不可解で異質だ」との評価を取りのぞくことだった。日本的とされる、心の内の小さな揺れや動きを表現する文学を個性として認め、そこにある感受性や美意識を愛し、同時に「私」を超える普遍性を見いだした。

日本文学は決して日本だけのものではない。世界の人々の心を打つ不滅の作品なのだ^①と確信し、期待してやまなかった。その営みが、一握りの読者しか持たなかった日本文学を世界の舞台に引き出した功績は大きい。いまや国境にかかわらず多くの作家の作品が読まれている。素地をつくり、豊かにしてくれた第一人者だった。

「何より人間に興味がある」

② 晩年の20年余り、人物評伝に力を入れた理由を、キーンさんはそう述べた。明治天皇、渡辺崋山、正岡子規、石川啄木ら、変化の時代を柔軟に生き抜く姿に、日本人の強さを見た。

東日本大震災を機に、かねての思いを実行して国籍を取得した。これを、はやりの日本^bらしい^bさんの文脈で語るのは間違いだ。対談で「日本人になったからには日本の悪口もどしどし言うつもりです」と語っている。

実際、キーンさんは、バブル崩壊後の日本社会のありように辛口だった。内向き志向、他者への配慮を欠いたふるまい。憲

法9条が改定の動きにさらされている現状も批判した。

本に親しんできた日本人が、テレビやゲームに興じ、古典と向き合う時間をなくしてしまっている風潮も惜しんだ。

そういう「ファストフード」から得られる喜びには限りがあると指摘し、人間性の探求に駆り立てる文学が再び必要とされるかもしれないと書いた。近年は、現代の私たちに通ずる孤独や、自信と不安が背中合わせの矛盾を描いているとして、啄木の作品を勧めていた。

豊かな文化の中に可能性がある――。キーンさんの言葉を、静かにかみしめたい。

(2019年2月26日 朝日新聞 朝刊「社説」)

設問

1. この「社説」に適切なタイトルを20字以内でつけなさい。
2. 傍線部 a 及び b を漢字で書きなさい。
3. 傍線①は、日本文学で表現されている内容が、人間にとって共通のものであり、世界の人々の心を打つ不滅のものであるという دونالد・キーン氏の確信に基づくものと、筆者は考えています。Donald・キーン氏が日本文学で表現されている内容のどのような性質を評価していたかについて、筆者の理解が分かる72文字の一文の最初の7文字を文中から抜き出さなさい。
4. 傍線②とは反対に、Donald・キーン氏が残念に思っていた最近の日本人の傾向を示す部分を、文中から33文字で抜き出さなさい。
5. この「社説」の内容をふまえて、あなたの考えを501字以上600字以内で示しなさい。